

これからの三年間、私が皆さんによく話す言葉を紹介します。それは、「中学校は社会に出る準備をし、大人になるための学校」という言葉です。

大人とは、自分のことは自分でできる人であり、また、自分のために、人のために何をすべきかが分かっている人のことを言います。私は、中学校生活三年間で挑戦していただきたいことを、三つにまとめてみました。

まず一つは、中学校三年間を、「自分発見の三年間にしてほしい」ということです。自分はどのような人間であり、どんな能力があるか、将来どのような方向へ進むと良いか、ふるさとにどう貢献するか、など、自分という人間をしっかりと見つけてほしいのです。この中心は、なんといっても「学習」だと思っています。あせらず、自分の力に応じた学習の仕方を工夫し、時には仲間のペースに合わせながら学習を進めることです。

2つ目は、「周りから信頼される人になってほしい」のです。学校というところは、様々な人々との関わりで、自分が成長していくところです。信頼を深めるために、誰とでもコミュニケーションができ、自分の言動に責任をもつことが大切です。私は、社会人として人柄の判断材料となるのは「約束を破らない人」だと思います。相手や集団のことを考え、目配り・気配り・心配りのできるところに、多くの人は感謝の念をいただけてくれることでしょう。

最後は、「健康な身体をもつ人」になって欲しいのです。学習ができ、周囲の信頼が増したとしても、心身の健康を害してしまうと、活動への取組が不十分となり、積み上げた信用を失いかねません。部活動や生徒会活動など、心と体を鍛える場は学校にたくさんあるので、十分に活用し、自分で健康をしっかりと管理できるようになってください。

以上、3つの挑戦目標を言いましたが、本校には校訓として、「自主完遂」「明朗闊達」「質実剛健」があります。生活の道しるべとなる校訓のもと、小学校で培った力を生かし、自分探しの三年間の旅に出ましょう。

私たちは、皆さん一人一人の旅が「安全」で、「数多くの貴重な人生体験」を積むことが出来るよう、全力で応援いたします。